

～郷土史つづり～

その 81「安平町文化財 瑞雲寺(曹洞宗)」

文責
郷土史マスター
川内 つづり



早来栄町にある瑞雲寺の本堂と薬師堂は令和2年に安平町文化財に指定されました。開創者は新潟県出身の前谷慧光という方で、視察した早来に将来性を認めて、明治29年に布教所を開設したことから始まりました。後に鶴の湯温泉を開業する井上市三郎(旧姓湯泉)から土地の寄進を受けました。当時は、明治25年に鉄道追分駅、明治27年に早来駅が開業した後で、林業が盛んであった頃でした。また、安平村戸長役場が置かれる2年前の明治31年に寺として認可されました。実際、本堂に入ってみると、荘厳な雰囲気が漂います。普段見られない太さの材木が使用されており、大半が原生木とのことですから、当時の木材資源の豊かさが見て取れます。中央4本の丸柱はタモ、丸柱を繋ぐ大梁はセン、床はカツラが使用され、深みのある色艶からも115年の歴史を感じることが出来ます。開業当時としては、道内では最大規模の本堂であり、薬師堂共に、貴重な歴史的建造物です。その後昭和4年、開創者の住職前谷慧光は、増坂順道師に寺を譲り厚真に説教所(現在の興隆寺)を開きました。

平成30年に発生した胆振東部地震(安平町震度6強)では、瑞雲寺も甚大な被害を受けました。瑞雲寺復興委員会が立ち上げられ、5か年計画で復旧事業が現在も進められています。

機会がありましたらぜひ訪れて、歴史を感じて見ませんか？

令和5年度第2回教育委員会(5月23日開催)議決事項等報告

- ① 令和5年度安平町一般会計補正予算について
- ② 安平町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ③ 安平町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ④ 安平町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ⑤ 安平町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ⑥ 令和5年度安平町育英基金奨学生採用について

※第3回教育委員会(6月28日開催予定)については次号でお知らせします。

また、教育委員会はどなたでも傍聴できます。詳しくは教育委員会事務局までお問い合わせください。(29-7036)

安平町図書室 新着図書のご案内

開室日 追分 火～日曜日 9時～17時
まなびお 月～日曜日 9時～21時
☎ まなびお:29-7775、追分:25-2565

新しい本がたくさん入りました！まなびお・追分どちらの図書室の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしております。

まなびお図書室

- 〈一般書〉たぬきの冬 北の森に生きる動物たち(石城 謙)／ずぼらガーデニング 枯らしまくっていた私がつどり着いた！(みゆき)／あたたかき日光(ひかげ)(田中 綾)／うたかたモザイク(穂 ミチ)／本売の日々(青山 文平)
- 〈児童書〉サキサキ オノマトペの短歌(穂村 弘)／「くうき」が僕らを呑み込む前に 脱サイレント・マジョリティー(山田 健太)／ぼくはいつだってどこにいるんだ(ヨシタケ シンスケ)／ももんちゃんとももんがくん(とよた かずひこ)／ぼくだけのこと(森 絵都)

追分公民館

- 〈一般書〉2040年の日本(野口 悠紀雄)／エプロン手帖(平野 レミ)／今、作りたいスマホショルダー／ぼんぼん彩句(宮部 みゆき)／朝のあかり 石垣りんエッセイ集(石垣 りん)
- 〈児童書〉14歳の教室 どう読みどう生きるか(若松 英輔)／ものづくりっておもしろい！おもちゃから乗り物まで(小林 竜太)／にわか魔女のタマユラさん(伊藤 充子)／パンダなかよしたいそう(いりやま さとし)／地球のことをおしえてあげる(ソフィー・ブラッコール)

今月の展示テーマ

『さて、夏じたく』

夏がやってきます。本格的な暑さになる前に体調を整えておきたいですね。また、スポーツやアウトドア、ガーデニングなど戸外で活発に過ごす今の季節を思いやり楽しむために、体を自分でメンテナンスしませんか。また、涼しく過ごすためにインテリアも夏のしつらえにしたいもの。楽しい夏を迎える本をあれこれ展示します。

◆ 読み聞かせ 7月日程 ◆

	日 時	場 所
読み聞かせ ありんこ会	7月8日(土)10時30分～	まなびお図書室(早来学園図書室)
ブックスタート読み聞かせボランティア赤ずきん	7月19日(水)11時～	おいわけ子ども園子育て支援センター